

施策評価シート《マネジメントシート》

施策名	生涯学習・生涯スポーツの推進		
施策の体系	基本目標	ひとを育むまち	施策の主担当課名
	基本施策	心とからだ育成プロジェクト	関係課名
	施策コード	B-4-4	生涯学習課

① 施策の現状と課題	<p>情報化の進展や社会経済の仕組みが大きく変化する中、市民一人ひとりが心豊かに充実した生活を送るために、自ら生涯にわたって学習に取り組むことが求められています。</p> <p>生涯学習活動は、学習者の自発的な意思に基づくことが大切です。本市においては、市民が気軽に参加できる講座や教室などを開催し、自主的な学習のきっかけづくりに努めてきました。今後も、市民ニーズに対応した生涯にわたる学習活動の支援と啓発を図ることが必要です。また、西日本工業大学などの高等教育機関と連携した学習内容の充実を図ることが大切です。</p> <p>本市の生涯学習の拠点施設としては、中央公民館をはじめ校区公民館があり、今後は市民の生涯学習の実践の場として積極的に利用されるよう施設の有効活用を図っていく必要があります。</p> <p>また、現代社会における市民スポーツは、競技としてだけではなく、市民の健康づくりやいきがい創出の観点から、スポーツ交流の推進や競技力の向上などを図り、市民の誰もが、いつでも、どこでも、気軽にスポーツを楽しめる生涯スポーツ社会の実現に向けた取組みが求められています。併せて、市民が自主的かつ主体的に活動できる環境の整備や施設の充実が求められています。</p> <p>そのため、「行橋市生涯学習推進計画」に基づき、時代のニーズに対応した講座の企画や学習情報の提供、学習拠点施設の整備、地域や施設のネットワーク化、学習の成果が適切に評価される仕組みづくりなど、生涯学習推進体制の充実・強化を図る必要があります。</p>
② 施策の基本方針	<p>心の豊かさの追求、価値観の多様化などを背景とした市民の多様な学習ニーズに対応するため、生涯学習内容の拡充に努めるとともに、様々な学習機会や生涯学習に関する情報提供の充実を図ります。</p> <p>スポーツ施設や組織などの活動基盤の強化に努めるとともに市民スポーツ活動や健康づくり及び市民相互の親睦や交流のための地域に根ざした生涯にわたるスポーツ・レクリエーション活動の振興を図ります。</p>

③ 施策の内容 (主要施策)	<p>主要施策名(1) 生涯学習推進体制の充実</p> <p>関係機関・団体等と連携して多様な学習に応えられる生涯学習推進体制の整備を図ります。</p>
	<p>主要施策名(2) 生涯学習活動の推進</p> <p>生涯にわたって学習できるよう西日本工業大学などとの連携を図り、専門性を生かし、また市民ニーズに応じた講座や教室などの学習機会を提供します。</p>
	<p>主要施策名(3) スポーツ活動の推進</p> <p>市民ニーズに応じた多様なスポーツ教室やスポーツイベントなどを企画し、効果的な情報提供等から市民がスポーツにふれる機会を提供します。</p> <p>また、スポーツ指導者、ボランティアの育成支援を行い、関係団体との連携を図ります。</p> <p>さらに、ニュースポーツなどの軽スポーツの普及に努め、年齢、体力、性別を問わず気軽に楽しめる環境づくりに努めます。</p>
	<p>主要施策名(4) 生涯学習・スポーツ施設の充実</p> <p>地域の交流拠点、情報発信基地としての公民館を計画的に整備し、安全で快適な学習環境の提供に努めます。また、市民が身近で気軽にスポーツ・レクリエーション活動を行うことができるよう、施設機能の充実に努めます。</p>
	<p>主要施策名(5)</p>
	<p>主要施策名(6)</p>

④ 目標指標	指標名(単位)	過年度実績							評価年度	目標値	達成度の説明(H26年度)
	公民館利用者人数(人)	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H26年度	H27年度	H28年度
		163,199	194,334	199,552	182,699	193,592	200,000	200,000	各公民館のサークル数が増え、利用者が増加している。目標値の見直し171000→200000人		
	公民館講座参加人数(人)	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H26年度	H27年度	H28年度
		7,682	6,374	6,403	6,688	6,787	7,500	8,000	校区公民館主催講座(子ども・人権講座)と中央公の市民大学講座の参加者数。22年度4196人→7682人に修正し目標値も8000人へ修正。		
	スポーツに親しむ環境整備に関する市民満足度(%)	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H26年度	H27年度	H28年度
25.4		-	32.9	-	-	-	35.0	24年度は生涯学習施設全般の充実度で、「充実」5.5%、「まあまあ」27.4%を挙げた。28年度にアンケート調査を実施したい			
スポーツフェスタin ゆくはし参加人数(人)	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H26年度	H27年度	H28年度	
	580	689	704	608	465	700	750	開催する競技種目によって参加者数にばらつきがある。目標値の見直し 700人→750人			
体育施設利用人数(人)	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H26年度	H27年度	H28年度	
	97,126	111,117	113,212	112,098	115,689	113,500	114,000	空調が完備され利用者が増加、目標値の見直し106800人→114000人			

⑤ 施策構成 事務事業	事務事業名	事務事業の内容	事業費(人件費込、単位:千円)			優先順位	
			H25年度実績値	H26年度実績値	H27年度見込額		
	1	市民大学講座事業	中央公民館にて市内在住・在勤者100人に2講座を提供する	2,861	2,897	2,920	6
	2	女性学級事業	小・中学生の母親と地域の女性を対象に各校区で10ヶ月間10回の講座を実施	3,704	3,704	3,704	14
	3	朗読大会コンクール事業	小・中・高校生を対象にこども朗読大賞を実施。今回12回目	662	652	652	15
	4	校区婦人会補助事業	仲津校区の11支部に対し補助	73	73	71	16
	5	レクリエーション協会助成事業	市レクリエーション協会に助成。訪問活動やボランティア養成講座等を実施	40	40	0	-
	6	地域ボランティア養成講座事業	中央公民館にて書道・はがき絵・折紙の講座を実施	1,971	3,540	5,231	4
	7	公民館施設管理事業	市内12公民館の施設管理にかかる経費	82,176	90,031	85,488	1
	8	公民館講座事業	各校区公民館で行う子ども講座と人権講座にかかる経費	2,432	2,594	2,599	5
	9	公民館補修事業	大規模な補修が必要な施設について優先順位をつけ計画的に補修していく	4,322	4,315	4,254	3
	10	学供施設管理事業	仲津・泉校区の22施設(各行政区が指定管理)の維持管理にかかる経費	4,633	6,266	5,379	11
	11	再編交付金事業	防衛省の再編交付金を活用した施設整備工事費を計上	20,375	23,911	0	-
	12	スポーツ教室事業	ジュニアと一般を対象にしたテニス教室を開催する	744	744	2,148	13
	13	スポーツ大会事業	初心者テニス、中学サッカーなど7種目の大会を開催する	3,529	3,682	12,341	2
	14	スポーツフェスタ開催事業	競技5種目を持ち回り、ニュースポーツの普及啓発を図る	2,935	2,935	2,795	12
	15	体育協会補助事業	22団体・5SP少年団への企画運営・助成、年間50件以上のスポーツ大会を開催	15,840	15,855	14,525	7
	16	ベタンク協会補助事業	競技普及のため補助する。高齢者の生きがいを醸成	660	660	310	19
	17	武道振興会補助事業	青少年の健全育成や精神修養を図るため武道振興会へ補助する	415	415	625	17
	18	校区体育振興事業補助事業	11校区のスポーツ振興のための助成	890	890	820	18
	19	高校野球大会補助事業	行橋京都地区の公立高校に対し野球の競技力向上と各高校間の融和を図る。	610	610	1,800	22
	20	スポーツ推進委員活動助成事業	24年度からスポーツ推進委員の活動に助成する	2,462	2,462	992	20
	21	中山グラウンド管理事業	中山グラウンド・テニスの維持管理にかかる経費	5,545	5,556	5,463	21
	22	体育施設補修事業	大規模な補修が必要な施設について優先順位をつけ計画的に補修していく	46,618	2,769	10,597	9
	23	指定管理体育施設管理事業	体育館・弓道場・武道場・庭球場の指定管理料	25,656	24,665	23,195	8
	24	その他体育施設管理事業	新田原G・多目的G、泉・今川スポーツ広場の管理にかかる経費	3,862	3,878	3,437	10
	25						
	26						
27							
28							

<p>⑥</p> <p>施策全体の今後の方針と展望 (主要部長の意見)</p>	<p>市長の掲げる「人口10万人構想」は、魅力がいっぱい、人が集まるパワフルゆくはし という第5次総合計画の将来都市像に合致するものであり、生涯学習課では生涯学習推進計画を策定し、いつでも どこでも とともに学ぶ 生きがいづくりのまち 行橋 を基本理念に、生涯学習・生涯スポーツの施策を推進する。</p> <p>生涯学習・スポーツの施設は全般的に老朽化が進んでおり、総合的な整備計画（長寿命化計画）を策定し、計画的な施設管理を図りたい。</p>
---	--

<p>⑦</p> <p>総合計画審議会からの意見及び指摘事項等</p>	<p>人は学生時代のみならず、生涯を通して何らかの学習をすることで、自分の生きがいを見出し、生きる活力にしていくものである。その種類は多種多様ではあるが、あらゆる市民の学習ニーズに応えられるよう、施設の整備をはじめ、企画を実施していくことが行政の使命である。目標指標をみると事業進捗が順調に進んでいるようであり、目標値も上方修正しているものが多い。この調子で引き続き事業を進めていってほしい。高齢者人口の急激な増加に対応するためにも、生涯学習・生涯スポーツ事業は大変重要である。</p> <p>今後の方針でも記載されているが、生涯学習・スポーツ施設に限ったものではないが老朽化した施設等については、今後の活用方法や必要性も考慮しながら施設管理計画に基づいて計画的に管理を行ってほしい。</p>
-------------------------------------	--

<p>⑧</p> <p>施策に対する市の最終方針</p>	<p>人のライフステージに応じて、学校教育以外の部分において生きがいを見つけ、生き生きとした人生を過ごすことをサポートすることが私たちの職務である。</p> <p>ビーチバレーボールフェスタやシーサイドハーフマラソンなど、新たな事業が増えている。全国的なスポーツイベントを開催することで市をPRし、市民活力を醸成できる。</p> <p>施設管理については、平成28年度より行橋総合公園内の施設管理を美津濃㈱を中心とした企業体による指定管理を予定している。また老朽化した施設の改修等は、その廃止も含めて総合管理計画をもとに計画的に進めていく。</p>
------------------------------	--